

学校施設長寿命化改良について

学校施設の現状と対応策について

目次

- 長寿命化改良事業とは？
- 学校施設の現状
- 学校施設整備の基本的な方針

長寿命化改良事業とは？

文部科学省における公立学校整備事業の1つ

趣旨

建物の**耐久性を高める**とともに、

省エネルギー化及び

多様な学習内容、学習形態に応じた学習環境の提供など、
現代の社会的要請に応じた施設へ改修する

長寿命化改良事業とは？

必ず実施する工事

躯体の老朽化対策

ライフラインの更新

原則実施する工事

耐久性に優れた材料への取替え

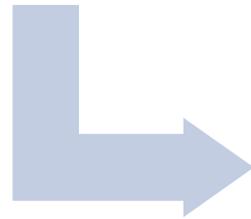
省エネルギー対策

多様な学習内容・形態による活動が可能となる環境の提供

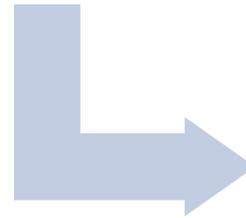
学校施設の現状

柏市の学校施設は...

昭和40年代後半～50年代
児童数の急増



一斉整備



同時に老朽化

建築後30年を経過するものが学校施設全体の**約8割**を占める

学校施設の現状

施設の老朽化

- 外壁の劣化による剥離, 落下の危険
- 給排水管からの水漏れ, 止まらない雨漏り
- 消防設備の誤作動 etc...

変化への対応不足

- 現代の多様な学習内容学習形態に対応していない

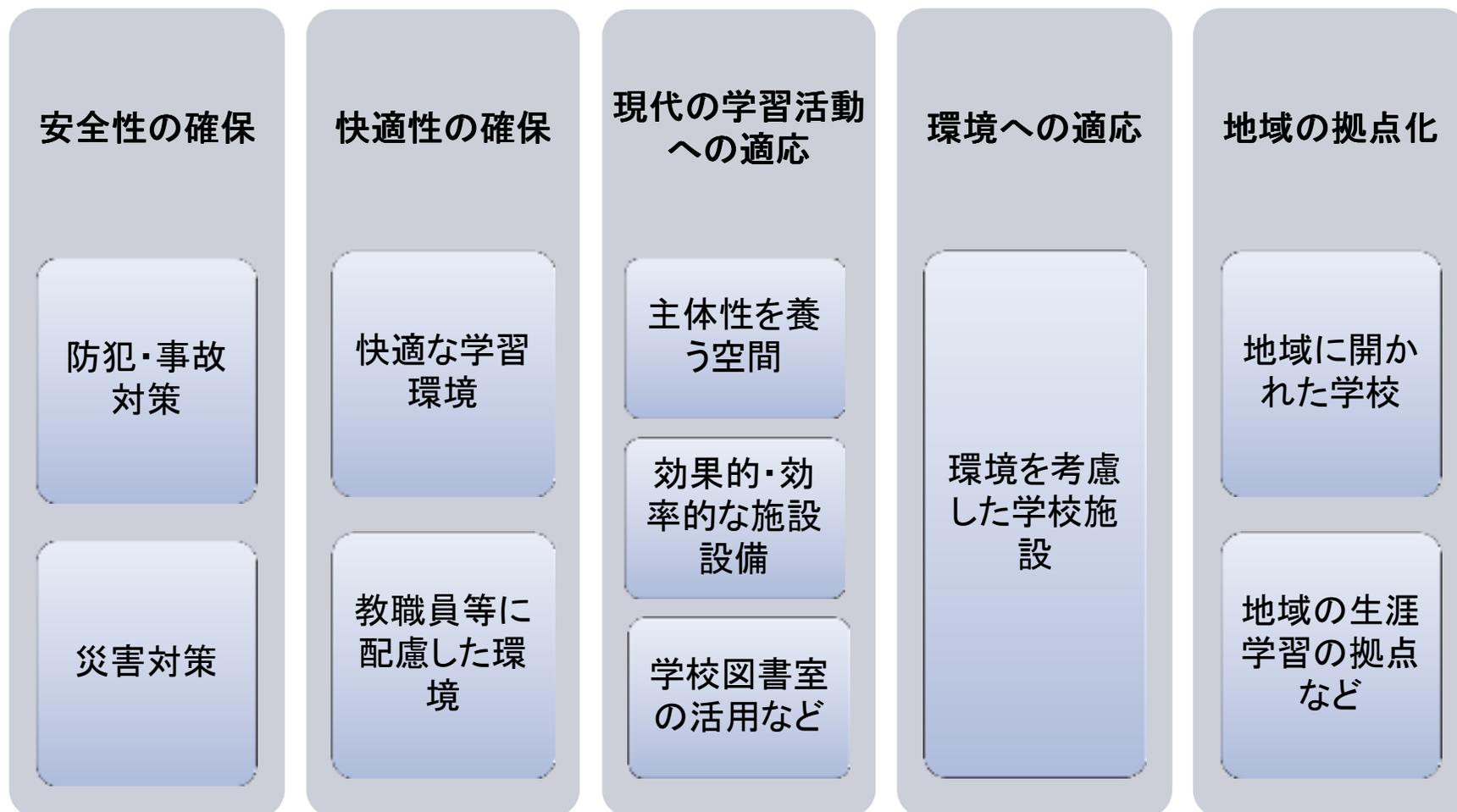


建て替え工事

or

長寿命化改良工事

学校施設整備の基本的な方針



学校施設整備の基本的な方針

学校整備の留意点

建て替え工事による莫大なコストを抑えなければならない！

コスト削減

学校運営の影響を最小限にしなければならない！

工期短縮

工事による廃棄物量や二酸化炭素の排出量を減らしたい！

環境配慮

学校施設整備の基本的な方針

学校運営の影響を最小限にしなければならない！

建て替え工事



長寿命化改良工事



工事期間についても改築より長寿命化改良にメリットがある。

※躯体とは柱や壁，床，梁等のコンクリート部分です。

学校施設整備の基本的な方針

長寿命化改良工事は・・・

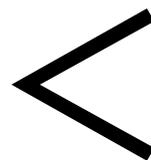
建て替え工事と比較して

コストが抑えられる

工期が短い

環境にやさしい

建て替え工事



長寿命改良工事